

海岸の保全に関する政策目標

【説明資料】

平成14年6月24日

我が国の海岸を取り巻く自然条件

我が国の海岸は、地震や台風、低気圧、冬季風浪などの厳しい自然条件のもとにおかれているため、津波、高潮、波浪、海岸侵食などによる災害が頻発し、これまでに各地で大きな被害を受けている。



津波による被害
平成5年北海道南西沖地震津波による被害
(北海道奥尻町)



高潮による被害
平成11年台風18号による被害
(熊本県不知火町)



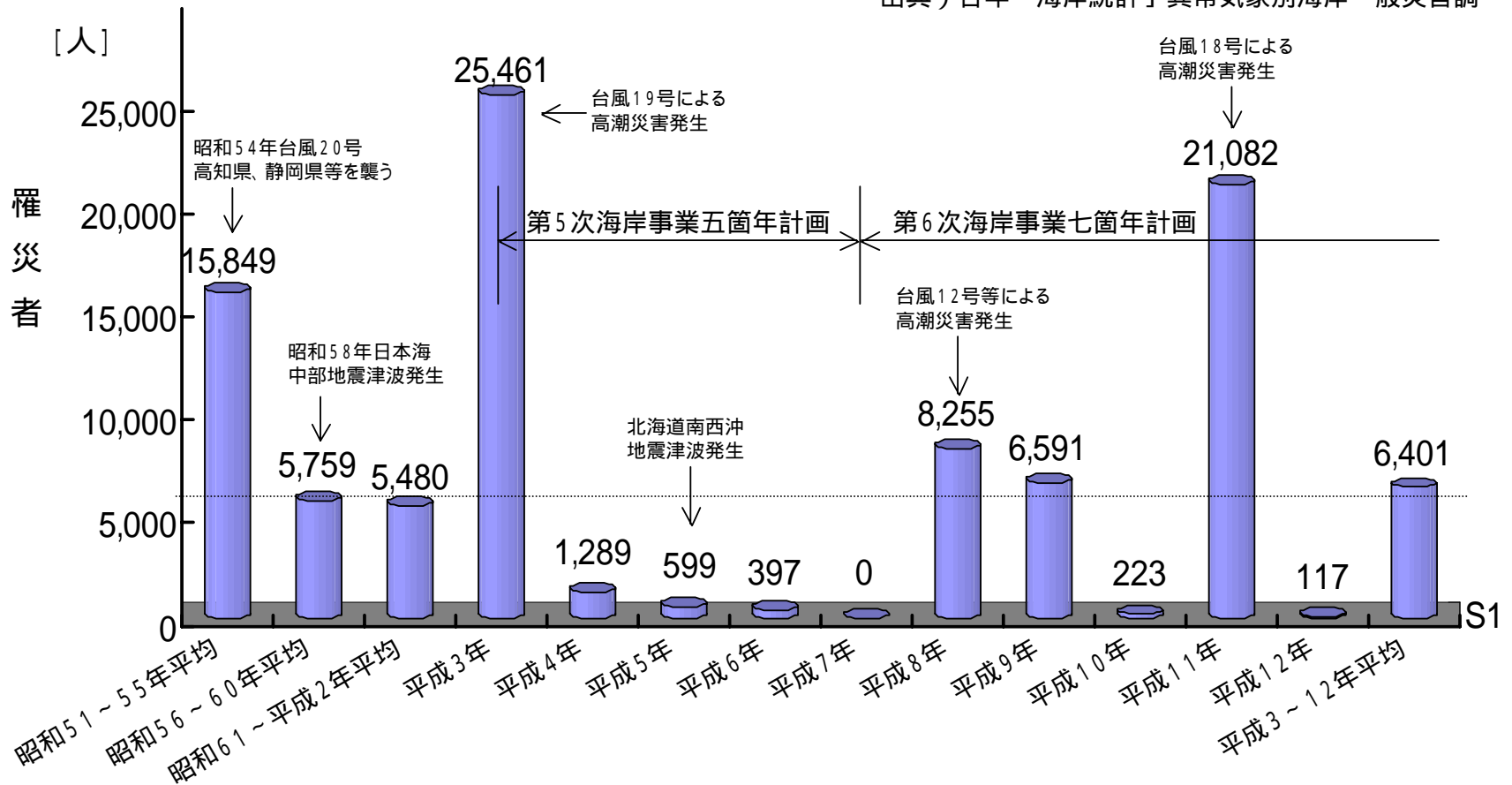
侵食による被害
冬季風浪による海岸侵食
(鳥取県皆生海岸)

津波、高潮、波浪による災害の発生状況

各次海岸事業五(七)箇年計画に基づき、計画的な海岸保全施設の整備が行われてきたものの、依然として津波、高潮、波浪による甚大な災害が発生している状況にある。

平成3年から平成12年までに10箇年平均:約6,400人/年
平成11年9月:熊本県八代海沿岸等において、死者・行方不明13人、
全壊・半壊845戸

出典) 各年「海岸統計」異常気象別海岸一般災害調



津波、高潮、波浪に対する安全性の確保は未だ不十分



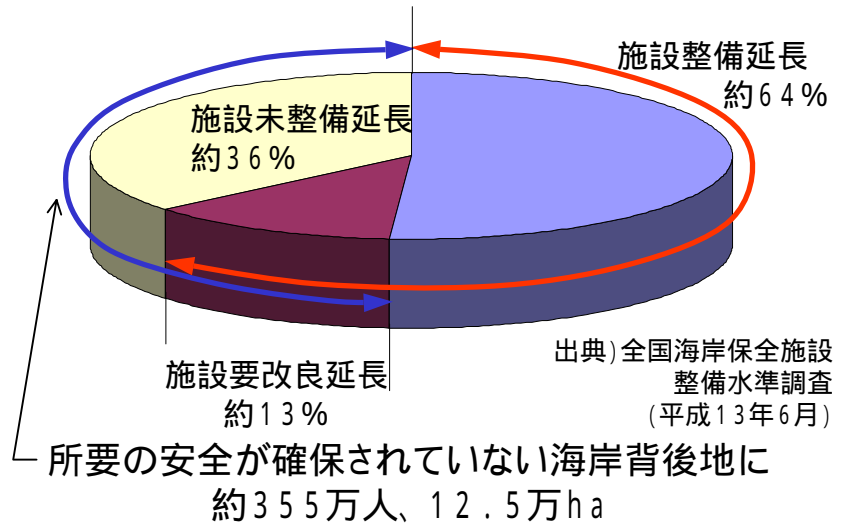
台風11号接近

交通機関運休相次ぐ
各市町村で災害対策本部

平成13年8月台風11号による越波状況
(古座海岸(和歌山県古座町))



越波や施設災害により通行止めとなり、生活に支障が発生



高潮・津波による災害から一定の水準の安全性が確保されていない地域の人口・面積の低減

未整備地区における海岸保全施設の新設整備

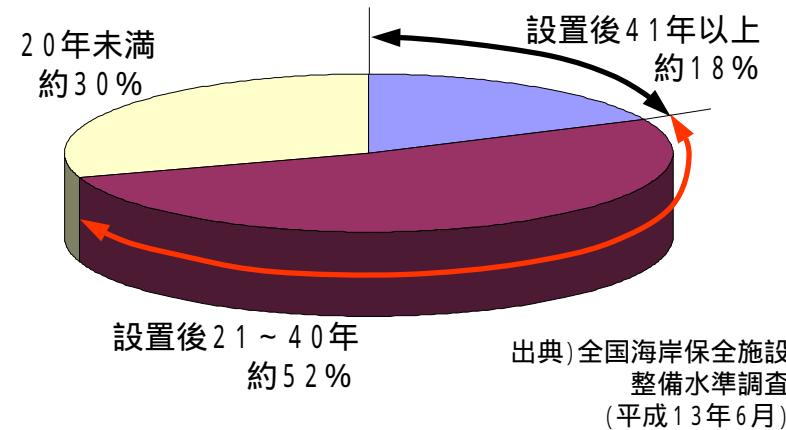
老朽化等により、施設機能の保持が課題



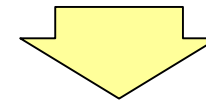
老朽化した護岸の状況（兵庫県阿那賀海岸）

海岸保全施設は、

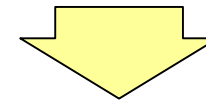
- 常時、風浪にさらされている
 - 塩害等により、機能の低下が加速度的に進行する 等
- により、適切な時期に補修が必要となってきた。



今後、施設の補修が一層重要になってくることが予想される



既存施設の機能が不十分なため、危険度が残る人口・面積の低減



機能が不足する海岸保全施設の効果的な整備

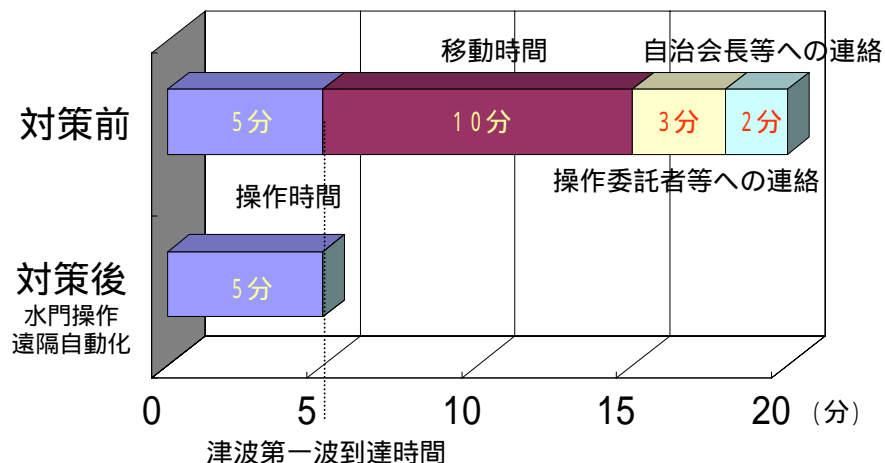
被害発生をくい止めるには施設の迅速な操作が不可欠



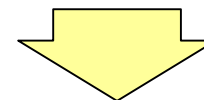
水門、陸ごうの操作には多くの人数、時間が必要



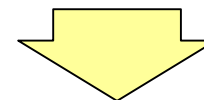
津波、高潮、波浪等の発生時には、海岸部での作業は危険



水門、陸ごうの操作時間の短縮 (静岡県相良町の例)



水門閉鎖時間など高潮に備える準備が完了するまでの時間が不十分な地区数・割合の低減

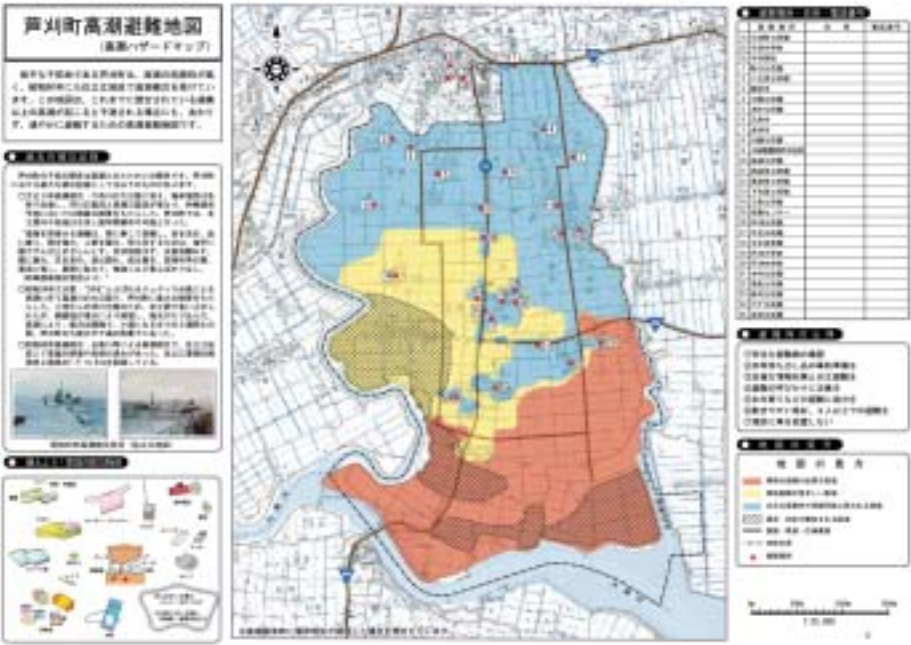


水門・閘門等の機能の高度化

適切な避難等には災害情報の周知、伝達が必要

ハザードマップの有効性

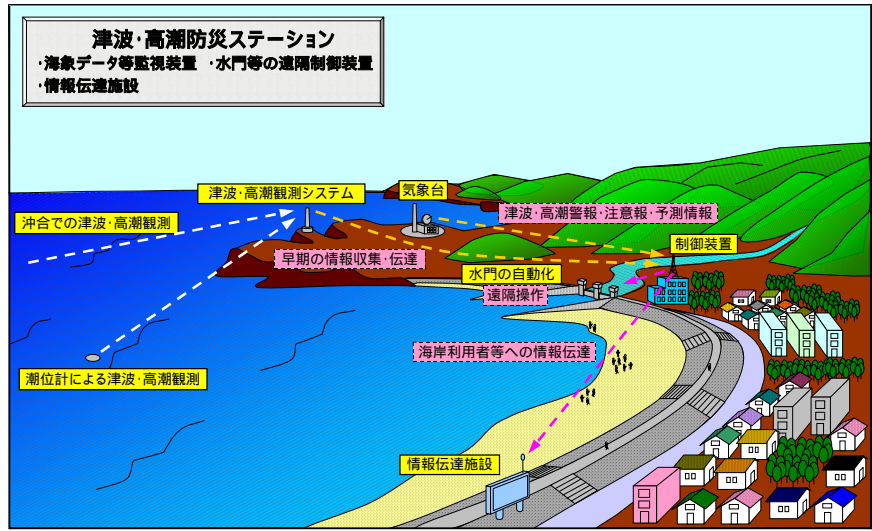
- ✓安全な避難路、避難地の選択
- ✓居住地区等の災害に対する危険度を把握



高潮ハザードマップのイメージ
(佐賀県芦刈町において検討中)

迅速かつ確実な情報伝達の必要性

- ✓近地津波では、即時の判断が不可欠
- ✓地元住民だけでなく、訪れた海岸利用者など不特定多数を対象とするので、分かりやすい災害情報が必要



津波・高潮防災ステーションのイメージ

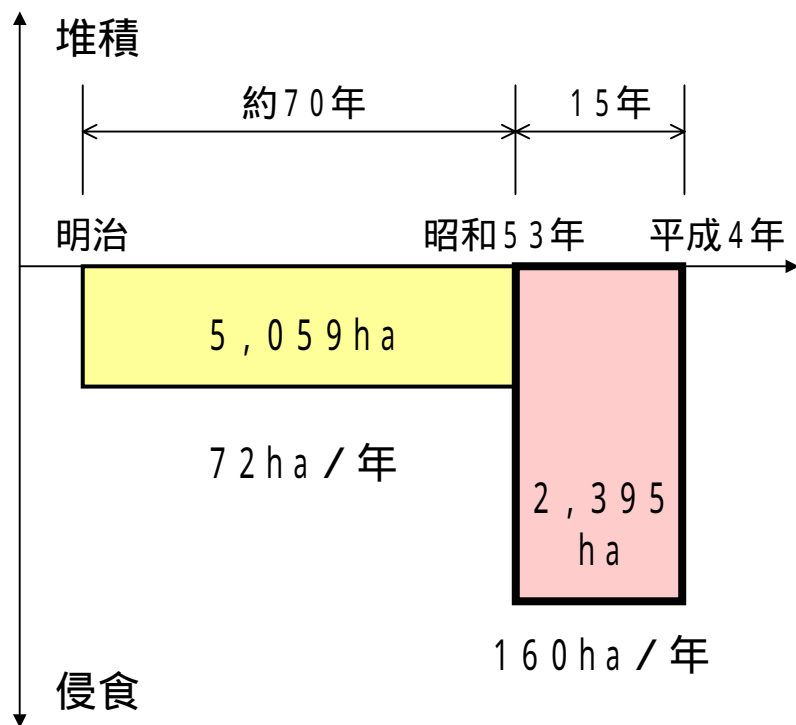
津波や高潮のハザードマップが作成されていない地区数・割合の低減

指標としては全国共通、目標値は地域性を考慮して設定する。

海岸の危機管理に資する情報施設等が整備されていない地区数・割合の低減

指標としては全国共通、目標値は地域性を考慮して設定する。

我が国の海岸侵食の状況



砂礫海岸における海岸侵食速度の変化

- ✓ 近年、急速に汀線の後退が進んでいる状況



海岸侵食により、我が国特有の景観が失われる恐れ

貴重な国土を保全していく必要

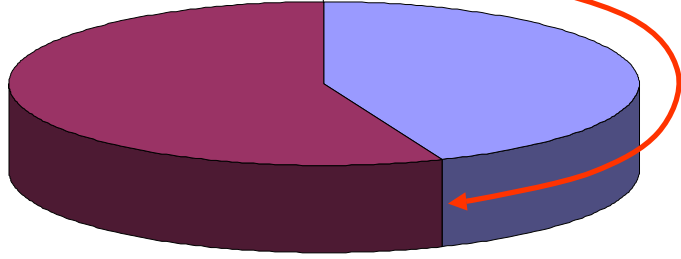


対策前
(昭和55年)

離岸堤、潜堤、人工リーフなどを用いた面的防護方式により、汀線の防護や回復を図っている。

(新潟県新潟海岸)

汀線回復済の延長 約640km
汀線未回復の延長 約500km



汀線の回復が必要な海岸において、実際に効果が上がっているのは、半分程度に留まっている。

出典) 中長期的な海岸保全の進め方に係る検討資料 (平成14年5月)



対策後
(平成28年)

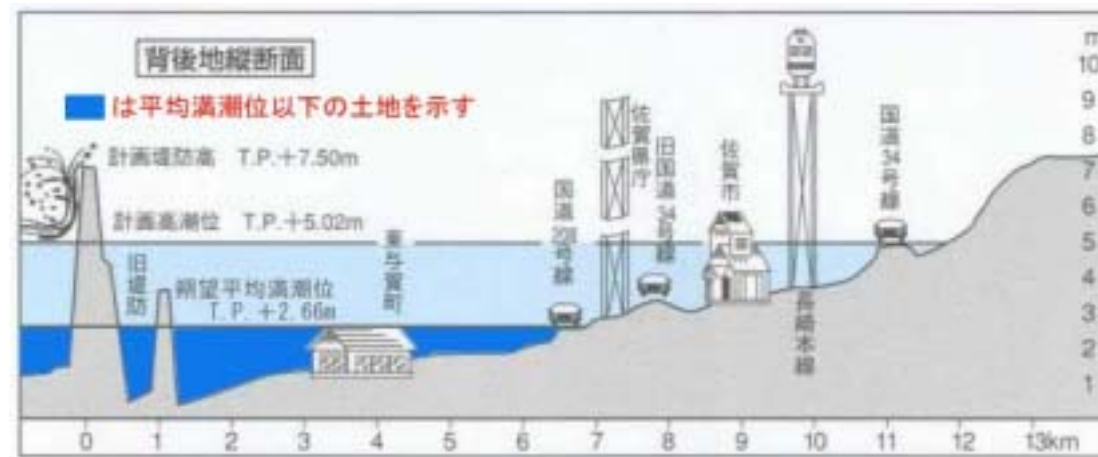
- 侵食海岸において現状の汀線防護が完了していない延長・割合の低減
- 汀線の回復が必要な地区において回復が図られていない延長・割合の低減

広域的な観点に立った総合的な侵食対策

施設の耐震対策は未だ不十分

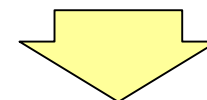


地震による堤防の被災状況



有明海岸は背後地の標高が低いため、耐震対策が不十分だと、大規模な地震により施設が被災すると、浸水区域は広範囲に及ぶ可能性がある。

- 耐震化が不十分な施設に防護されている人口・面積
- ゼロメートル地帯において耐震化が不十分なため、地震水害の危険度が高い人口・面積



海岸保全施設の耐震化(特にゼロメートル地帯を対象に)

海辺の豊かな自然環境や美しい海岸景観

海岸とその周辺の浅海域は、陸と海と大気の接点であり、潮の干満や波によって海中に酸素が溶け込んだり、日光が差し込むなど、海洋生物や植物にとって良好な生息生育空間となっている。



白砂青松の景観
(福島県四倉海岸)



海中構造物周辺の
小魚や海藻
(福岡県鍾崎海岸)



白砂青松の景観
(鹿児島県吹上浜)



身近な海との触れ合いや海辺の多様な利用

海岸は、海水浴、潮干狩り、マリンスポーツなど、様々なレジャーやレクリエーションの場として利用されている。また、伝統行事やイベントなども開催され、地域における交流の場として活用されている。



潮干狩り(福岡県津屋崎海岸)



ガタリンピック(佐賀県七浦海岸)

自然と共生する海岸づくり



アカウミガメの産卵
(高知県元海岸)
多様な生物の生息生育の場として砂浜は重要な役割を果たしている。

トウテイラン
(京都府久美浜海岸)



カブトガニ
(岡山県天神海岸)
貴重な動植物の生息生育の場となっている良好な海岸環境を保全し、自然との共生を図っていく必要がある。

白砂青松の景観
(福井県敦賀港海岸)
豊かで美しい自然景観の形成に砂浜は重要な役割を果たしている。



- 復元・創出された砂浜の延長、面積の増加
- 維持されている砂浜の延長、面積の増加

- 後世に残すべき白砂青松等の優れた景観の数の増加
- 保護・回復された貴重な生息生育空間の地区数の増加

指標としては全国共通、目標値は地域性を考慮して設定する。

日常生活において親しみやすい海岸づくり



海辺に近づくことのできる海岸づくり
(静岡県富士海岸)
消波ブロックを沖合の海面下の構造物に転用し、砂浜を再生した。



海辺に近づくことができ、生活に豊かさを感じる空間



住民による海岸清掃
(兵庫県竹野海岸)

- 人々が海辺に親しめる海岸の地区数、割合、延長の向上、潤いの向上
- 砂浜を有する海岸において、バリアフリー化された海岸の地区数・割合の向上

指標としては全国共通、目標値は地域性を考慮して設定する。

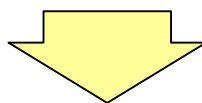
例：住民等が環境や利用の向上に積極的に参加している海岸の地区数・割合の向上、参加内容の深化

指標は例示、指標・目標値は地域性を考慮して設定する。

海辺における多様な活動の充実



海水浴(和歌山県那智勝浦海岸)
海岸の利用促進を通じた地域の活性化

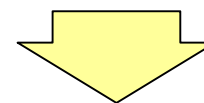


例:地先の海岸でレジャーやスポーツを楽しむことのできる地区数・割合の向上

指標は例示、指標・目標値は地域性を考慮して設定する。



ウミガメの産卵観察(高知県元海岸)
自然豊かな海岸を活用した環境教育の充実



例:自然体験、環境教育等様々な活動の場として利用されている海岸の地区数・割合の向上、活動内容の深化

指標は例示、指標・目標値は地域性を考慮して設定する。